

和寒町地域

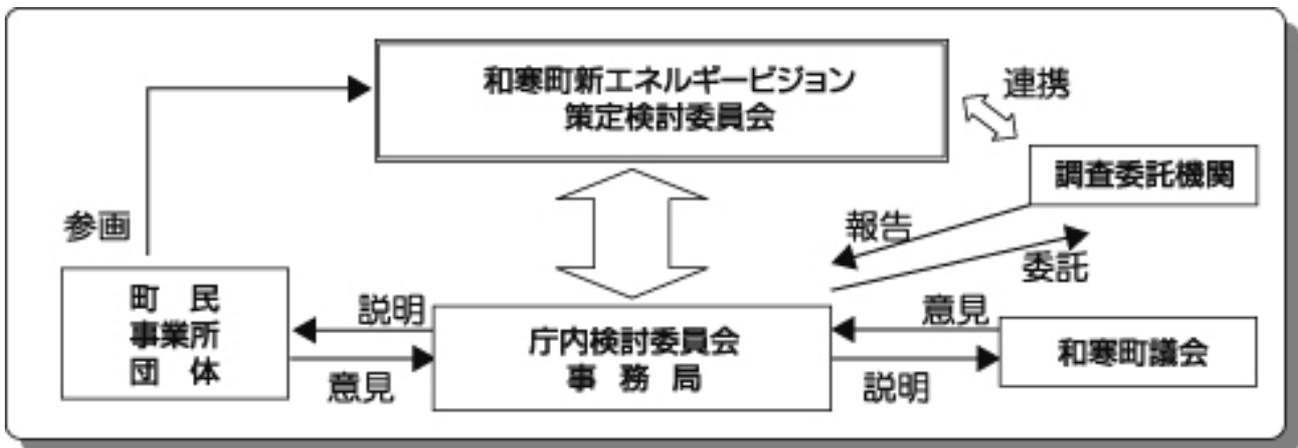
NO. 1

新エネルギービジョンの策定に向けて

エネルギー需給構造が脆弱な我が国におけるエネルギー安定供給の確保は極めて重要な課題であることに加え、地球温暖化対策としてエネルギー起源CO₂の削減を図ることが国際的にも求められています。

和寒町では本年度、本町の自然条件や産業構造などの地域特性を的確に把握しながら、多くの可能性を秘めている新エネルギーの利用可能量などの調査を行い、新エネルギーの導入と普及、地域産業の活性化に寄与するべく「和寒町地域新エネルギービジョン」を、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO 技術開発機構）の補助を受けて策定します。

§ 事業実施体制フロー



§ 策定検討委員会の構成

(敬称略)

No.	役職	氏名	所属団体等
1	委員長	荒木 肇	北海道大学 教授
2	副委員長	褁田 道悟	和寒町観光協会 会長
3	委員	合田 菊夫	和寒町商工会 工業部会長
4	委員	川口 萬里	和寒町森林組合 代表理事組合長
5	委員	池澤 和成	北ひびき農業協同組合 理事
6	委員	鈴木 信人	和寒町校長会 会長
7	委員	堂前 和彦	和寒町稲作振興会 会長
8	委員	窪田 珠子	和寒石けんクラブ 代表
9	委員	後藤 保	和寒建設協会
10	委員	後藤 照男	北海道電力株式会社 名寄営業所長



§ 今後のスケジュール

ビジョンの策定は平成22年2月までに行います。

町民の皆さんにご協力をいただき、エネルギーに対するアンケート調査の実施も計画しています。

策定検討委員会は期間中5回の開催を予定しており、調査内容等については町広報誌等で随時お知らせしていく予定です。

新エネルギーは一般的にコストが高く、太陽や風力といった自然条件に左右されるという面がありますが、国産のエネルギーであるとともに、基本的にはCO₂を発生させないという優れた環境特性を有しています。新エネルギーは「熱利用」と「発電」の大きく2つに分けられ、「熱利用」分野では太陽熱、バイオマス熱、温度差熱、雪氷熱などがあり「発電」分野では太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱などがあります。